

報道関係各位

文化庁メディア芸術祭 大阪中之島展「ナカノシマX(クロス)イノベーション」 展示全作品、及びイベント開催決定！

この度、2022年11月28日(月)～12月11日(日)に、文化庁メディア芸術祭大阪中之島展「ナカノシマX(クロス)イノベーション」を開催いたします。2025年に開催される大阪・関西万博に向けて、新たな文化を発信する「文化ステーション」という役目を担う大阪府立中之島図書館を会場に、文化庁メディア芸術祭の歴代受賞作品23点、京阪電車大江橋駅内のサテライト会場に1点の計24点を展示します。さらに関連イベントとしてトークイベントや、文化庁メディア芸術祭の歴代受賞作品2点の上映会を開催します。

開催概要

会期：令和4年11月28日(月)～12月11日(日)

※会期中無休

会場：(展覧会)

大阪府立中之島図書館

本館3階展示室、多目的スペース2、

本館2階多目的スペース1

(サテライト展示)

京阪電車中之島線「大江橋駅」5号出入口

時間：(展覧会)

10:00～19:30(最終入場19:00)

(サテライト展示)

11月26日(土)～12月11日(日)まで

入場料：無料

公式サイト：<https://oosaka-nakanoshima2022.j-mediaarts.jp>

主催：文化庁

後援：大阪府、大阪市

協力：大阪府立中之島図書館、京阪ホールディングス株式会社

企画・運営：株式会社小学館集英社プロダクション



大阪中之島展の詳細

■ メディア芸術祭地方展初の大阪開催

本展は、メディア芸術祭初の大阪開催となります。会場は、明治37(1904)年建築で国指定重要文化財の大阪府立中之島図書館で、中之島地区の象徴的な建造物でもあり、大阪のビジネス街の中心地に位置しています。大阪にまつわる資料の他、ビジネス関係資料を所蔵し、この地域の「知のアーカイブ」として多くの人に親しまれています。歴史ある建物で、日々進化するメディア芸術がクロスする展示をお楽しみください。

大阪府立中之島図書館(国指定重要文化財)

中之島図書館の本館は、明治37(1904)年に第15代住友吉左衛門氏の寄付によってつくられました。設計は住友家の建築技師長・野口孫市氏、補佐及び大正11年に増築された左右両翼の設計は同技師の日高胖氏。

昭和49(1974)年、本館及び左右両翼2棟が国の重要文化財に指定になり中之島地区屈指の歴史を誇る建造物です。図書館は、古典籍、ビジネス関係資料、文学・歴史・政治・経済など大阪に関するあらゆる分野の本を集め保存している他、講座、展示などの様々な用途に使用される「知のアーカイブ」施設として多くの人に親しまれています。



大阪府立中之島図書館 正面

■ 大阪にまつわる5つのテーマからメディア芸術に触れることのできる展覧会構成

本展覧会のテーマである「ナカノシマ X(クロス)イノベーション」を5つのテーマに分けて紹介します。大阪・中之島が培ってきたこれらの要素を基に、歴代のメディア芸術作品を展示します。

◎5つのテーマ

《コミュニティと多様性》、《価値の交換と選択》、《笑いとユーモア》、
《テクノロジーの開発》、《クロスイノベーションと未来》

展示作品の詳細は大阪中之島展HPにてご確認ください。

<https://oosaka-nakanoshima2022.j-mediaarts.jp/>

■ 関連イベントの実施

<トークイベントのご案内>

「科学×マンガ×SF メディア芸術のこれまで、これから」

メディア芸術は、日々進化を続ける科学技術を表現に活かすことで、人間や生命の可能性を示すとともに未来や社会への問いかけを行ってきました。人工生命の研究者の池上高志氏、映画監督の樋口真嗣氏、マンガ評論家の伊藤剛氏の各分野で活躍するお三方を迎え、メディア芸術のこれまでとこれからを、それぞれの立場からお話頂きます。

【日時】12月6日(火) 18:30-20:00 (開場 18:00)

【定員】90名

【場所】大阪府中央公会堂小集会室

【参加方法】右記URLより申し込み。<https://fs220.xbit.jp/y263/form1/>

(11月14日(月) 10:00 受付開始/先着順)

【出演者】

池上 高志 氏

東京大学大学院総合文化研究科広域システム科学系教授。専門は複雑系の科学。アーティストとしても活動。

『Alter』で第20回アート部門優秀賞(『Alter』制作チーム代表：石黒浩/池上高志)。

『傀儡神楽 ALTER the Android KAGURA』で第25回アート部門審査委員会推薦作品

(『傀儡神楽』制作チーム代表：池上高志)。第22～24回でアート部門の審査委員を務める。

樋口 真嗣 氏

映画監督・特技監督。

『シン・ゴジラ』で第20回エンターテインメント部門大賞(庵野秀明/樋口真嗣)。

『ひそねとまそたん』で第22回アニメーション部門優秀賞。

監督作品に『ローレライ』、『日本沈没』、『のぼうの城』など。

伊藤 剛 氏

東京工芸大学マンガ学科教授。マンガ評論家。

第16～18回でマンガ部門の審査委員を務める。2019年大英博物館マンガ展「The Citi exhibition MANGA」

学術協力。著書『テヅカ・イズ・デッド』、共著書『マンガメディア文化論』など。

<作品上映会のご案内>

本展のテーマに沿って、下記の2作品を特別上映致します。

【日時】

- ① 12月3日(土)、12月10日(土) 10:00～、14:00～ 約20分
- ② 12月3日(土)、12月10日(土) 11:00～、15:00～ 約100分

【定員】

60名

【場所】大阪府立中之島図書館 別館2階／多目的スペース3

【参加方法】当日会場へお越しください

① 第25回アート部門

審査委員会推薦作品

傀儡神楽 ALTER the Android KAGURA

『傀儡神楽』制作チーム(代表：池上高志)



© "ALTER the Android KAGURA" Production Team

Photo: Yu Inohara (TRON)

② 第24回エンターテインメント部門

審査委員会推薦作品

ジャルジャル生配信ライブコント「旅館の部屋を覗く奴」

ジャルジャル(後藤 淳平/福德 秀介)/倉本 美津留

※2020年6月28日に配信されたコントライブ上映になります。



© 吉本興業株式会社

■ 地域連携事業

地域連携事業として、中之島地区に路線を持つ京阪電気鉄道が主催する、駅からはじまるアートイベント「キテミテ中之島 2022」と連携し、京阪電車中之島線「大江橋駅」5号出入口にて、サテライト展示を行います。

駅からはじまるアートイベント「キテミテ中之島 2022」とは、芸術をきっかけに中之島を訪れ、愛着と理解を深めていただくとともに、中之島が持つ「文化・芸術の地」というイメージの発信を目指すもので、今年で11回目の開催となります。「みんないきものがたり つづくよどこまでも」をテーマに、同じ地球でともに生きる‘いきもの’に目を向け、子供たちの作品や、募集作品をアーティスト作品とコラボレーションした展示を行い、アートの魅力を通して、人・まち・歴史をつなぎ、子供から大人までが地域との交流を通じて多様な価値観と表現を体感する展覧会です。

本展覧会では、「キテミテ中之島 2022」と連携し、地方におけるメディア芸術の振興及び普及、促進を目的に、大阪ゆかりの人物とイノベーションを取り上げたメディア芸術作品のパネル展示を行います。

※展示期間 2022年11月26日(土)～12月11日(日)

＜展示作品＞

第13回マンガ部門優秀賞

へうげもの / 山田 芳裕

© 山田芳裕 / 講談社



戦国武将、茶人として活躍した古田織部が主人公の作品。豊臣秀吉や千利休など大阪ゆかりの人物が登場し、本展のテーマにある笑いやユーモアの他、大胆な推論と解釈によって描かれながらも、精緻な時代考証や史料に基づいたクロスイノベーション的な作品になっています。

詳細は「キテミテ中之島 2022」HP (<http://www.keihan.co.jp/traffic/kitemite/>) をご覧ください。

＜メディア芸術祭 大阪中之島展に関する問い合わせ＞

文化庁メディア芸術祭大阪中之島展企画運営事務局（株式会社小学館集英社プロダクション内）

TEL:06-6485-8086（平日 10:00～17:00）

報道関係各位

文化庁メディア芸術祭 大阪中之島展「ナカノシマ X(クロス)イノベーション」

報道関係者向け内覧会のご案内

文化庁メディア芸術祭地方展は文化庁メディア芸術祭においてアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門で受賞した作品の鑑賞機会を提供する総合フェスティバルとして平成14年度から国内の様々な都市において展覧会を開催しています。

この度、文化庁メディア芸術祭地方展の開催地としては初となる大阪にて大阪中之島展「ナカノシマ X（クロス）イノベーション」を11月28日（月）から12月11日（日）まで開催することとなりました。つきましては、これに先立ち、内覧会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、ご来場賜りたく、ご案内申し上げます。

内覧会開催概要

日時 2022年11月28日（月）9：30～10：00

会場 大阪府立中之島図書館 / 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島1丁目2-10

※当日は、3階展示室にお集まりください。

※開始5分前までにお越しいただくようお願いいたします。

■上記時間にガイドツアーを開催いたします。ご参加にあたっては＜プレス内覧会 返信用紙＞をFAXまたはメールにてお送りください。

■ガイドツアー終了後、ご希望の方は自由に内覧できます。

■ご欠席の場合でも、資料・画像をご希望の方は、文化庁メディア芸術祭大阪中之島展企画運営事務局までご連絡ください。

＜内覧会参加にあたってのお願い＞

・当日は、受付にて、検温と手指の消毒にご協力をお願いいたします。

また、体調のすぐれない方、37.5℃以上の発熱のある方、咳の症状のある方はご入場をご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

・ご入場の際はマスクをご着用くださいますようお願い申し上げます。

・スタッフはマスクを着用しご案内させていただきます。



プレス内覧会 返信用紙 <返信締切：2022年11月24日（木）>

MAIL：public-service@shopro.co.jp FAX：06-6485-8088

文化庁メディア芸術祭大阪中之島展企画運営事務局 行

貴媒体名：

ご所属：

ご芳名：

ご連絡先：EMAIL

当日連絡先：TEL

ご人数（代表者様を含む）：

ご同伴者様ご芳名：

カメラ撮影：スチール／有・無 ムービー／有・無

※撮影機材が多い場合は、文化庁メディア芸術祭大阪中之島展企画運営事務局までご一報ください。

備考

<本件に関する問い合わせ>

文化庁メディア芸術祭大阪中之島展企画運営事務局（株式会社小学館集英社プロダクション内）

TEL:06-6485-8086（平日 10:00～17:00）